

Sui-Kei

水産経済新聞

http://www.suikai.co.jp/

支局・通信網			
支局	通信部		
北海道支局(札幌)	011-261-6062	函館支局	館岡島
東北支局(仙台)	022-263-8476	青森支局	仙北
関東支局(東京)	0479-60-5585	岩手支局	古川
三陸支局(盛岡)	046-880-0757	秋田支局	大館
中部支局(新潟)	054-627-3141	山形支局	山形
北陸支局(金沢)	06-6452-9201	福島支局	福島
近畿支局(大阪)	095-826-1120	茨城支局	水戸
中国支局(広島)		山梨支局	山梨
四国支局(高松)		長野支局	長野
九州支局(福岡)		山梨支局	山梨
山口支局		山梨支局	山梨
徳島支局		山梨支局	山梨
香川支局		山梨支局	山梨
愛媛支局		山梨支局	山梨
高松支局		山梨支局	山梨
高松支局		山梨支局	山梨
高松支局		山梨支局	山梨

外国為替対顧客相場(TTS)		
三菱東京UFJ銀行		
	17日	前営業日
米ドル	81.55 円	81.98 円
カナダドル	82.17 円	82.60 円
ユーロ	107.16 円	106.92 円
ポンド	14.30 円	14.25 円
豪ドル	85.37 円	85.59 円
NZドル	67.95 円	68.39 円
タイバーツ	2.69 円	2.71 円
インドルピー	1.73 円	1.74 円
韓国100ウォン	7.29 円	7.33 円
南アフリカランド	11.65 円	11.67 円
ロシアルーブル	2.98 円	2.99 円
みずほコーポレート銀行の参考値		
中国人民元	12.80 円	12.86 円

ノルウェー最新水産機器が手助け



主催者あいさつ
日本の水産業に変化を
 宮城大学 大泉一貫副学長
 (南三陸町震災復興計画策定委員長兼任)

東日本大震災に襲われ、津波被害を受けた水産業者は、高台移転や防波堤の拡張など、基盤整備や水産資源の回復も、重要な課題として再訪される。復興支援の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。



ノルウェーから来日した5メーカーの代表が、多方面から提案した(仙台会場)

水産物輸出で世界第2位を誇るノルウェー王国は、漁業を重要産業と位置付けてきた時代があった。ところが、成長産業としての地位を失った。その原因は、漁業の高度化と、漁業従事者の高齢化にある。その結果、漁業従事者の減少と、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

東日本大震災による被害からの復興、復興を考えると、「新たな投資による、震災以前に戻るだけでは意味がない」と、施設の近代化を促し、旧態依然からの飛躍をねらう動きがある。障害は多いものの、水産業が50年、100年後も魅力ある産業でいられるよう、ノルウェー王国を代表する水産機器メーカーなど5社に来日してもらい、県内2か所で「復興支援ノルウェー水産機器フォーラム」を開催。経営者層の意向を聞き、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

だが、今回来日した同業者を相手に、新たなシステムをめぐり、水産機器が「作り替える機械」ではなく、「作り替える機械」に変わってきている。水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

省人・省力化

復興のピシント 三陸水産再生へ 自動化で10年先の経営提案



各メーカーのプレゼンテーションに聞き入る参加者(南三陸会場)

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

「日本は少量多品種の漁獲だから」とも、漁業従事者の高齢化が進むと、漁業の衰退が懸念されている。この状況を打開するため、ノルウェー政府は、漁業従事者の若年化と、漁業の高度化を推進している。その一環として、水産復興計画の一環として、三陸地区の水産復興計画に、一石を投じた。

雑魚選別など、日本仕様へ積極対応

自動パッキングライン
First Process 社
 国内問い合わせ先 ☎080-3464-6019、メール khjuny@firstprocess.no

世界が認める水産機器の代表格

自動パッキングライン
Optimar 社
 国内問い合わせ先 ☎03-5542-5661

漁労作業の軽減+品質向上に

漁業用設備
MMC 社
 国内問い合わせ先 ☎03-5542-5661

フィッシュポンプ

冷却海水循環システム(RSW)
 国内問い合わせ先 ☎03-5542-5661

水産1次加工ラインの先駆者
 社名に表されるように、1次加工に特化する First Process 社。日本企業への進出に先駆的な実績をもつが、当初、仕向けは相当に悩んだという。漁獲物がほぼ単一魚種で占められるノルウェーに対し、日本のそれは混在率がはるかに高い。その極みがマサバ、ゴマサバにある。両者の選別は機械にできず、人間の目や手が不可欠だ。そのため、日本仕様には自動選別やパッキングといった本選別へ至る前に、効率よく手作業選別できる分配ラインを設けた。魚種+サイズと複合的な選別規格にも、現場の空間・環境を生かした設計でラインを整え、本選別へと送られる。

世界一の精度・速度もつ包装ライン
 だが、同社の名を世界に知らしめたのは、「世界一のスピードと正確性をもつ」と自負するパッキングラインにこそある。熟練した人ならば、1分当たり17箱、平均でも14箱を1ラインで処理するほど。もちろん、包装作業だけが早くても意味はない。ポリシートへの供給をはじめ、ライン前半に位置する計量器、あるいは後半のラックストッカーといった物流ラインが、高速処理下においても、正確かつ効率的に連携されている証でもある。既存の機器や新製機との連携も可能であり、工場設計費用を最小限に抑える。日本企業とともに多くのラインを設置してきた経験が生きている。

EU HACCP取得で新規顧客獲得
 一連のラインはEU HACCPの基準を満たす。衛生管理はもちろんEUなど海外輸出に目を向け、新たな顧客をつかみたい企業にとって、ハード面で即対応できる点がうれしい。人口減少による販路の先細りや、魚価が低迷する日本でも、次世代の水産業を育てる有効な手段になり得る。同社の飛躍を支えるのは、「水産機器のテラーモードを目指す」という姿勢にある。十分なスペースが確保できない工場には、回転式のローラーコンベアを採用したり、サケも形を崩さず、形状を保ったまま凍結するシステムも考案した。用途に合わせた機器開発から製造、設置で、作業の効率化に貢献する。

冷却海水循環システム(RSW)
 漁獲された魚は海水を冷却し、十分な冷却を終えた魚槽へ投入される。水水でないメリットは、魚槽内のどこでも、水温のムラがない点にある。漁獲時からの品質劣化を極力抑える。システム導入時に水の積み込み作業は不要。必要な時にスイッチを入れれば、漁場に到着するころに魚槽内の海水はマイナス温度へ。漁獲後、帰路とともに魚は冷やされ、セリまですべての魚が芯(しん)温まで冷却を終える流れだ。操作はタッチパネルのみで、必要な魚槽の水だけ冷やせる。既運搬船への搭載も可能であり、加工を待つ陸上施設の一時的保管タンクなどへも利用される。

海から陸へ 最新陸上養殖施設

魚類養殖技術
Segel 社
 国内問い合わせ先 ☎03-6408-8100

現在、世界で注目を集めているのは同国の陸上養殖の技術。ポルトガルのウナギ養殖場では、システムの採用により、年間500tもの養殖ウナギ生産を実現した。管理システムの徹底が陸上養殖へも。陸上養殖の利点は、敷地の多様性にある。半面、水質や餌の管理が難しい。この点においても、汚染の回避や魚病の抑制など行政の厳しい規制が、世界屈指の技術を生み出した要因となる。管理監視システムや給餌のコンピュータ制御、イkeys網のクリ

1分間で最大180針に自動餌付け

自動延縄機器
Mustad Longline 社
 国内問い合わせ先 ☎03-6408-8100

自動で針に餌を付け、針とラインを漁場へ送り出す
 一連の機器は、全長10mほどの船にも設置が可能。既存船へはレイアウトなど、相談しながら施工、搭載していく。同社の最新機器は Select Fish System。幹線と枝線を別々にセットし、投網過程で餌付けした枝線を固定し、揚網時に取り外す。収納の高効率ほか、投網速度も1秒間に最大6針まで向上させた。